

受理日	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	
2005/9/22	50104	A型肝炎	Transfusion.2005;45(6):1037-8	ドイツのワクチン非接種の血液ドナー2人がエングトのHAVリスク以外の地区への旅行から帰国後、PCRによるスクリーニング検査でHAV感染が確認された(2004年の事例)。このことより、HAVハイリスク地区だけでなく、リスク地区と認められなかった地域への非ワクチン接種の観光者にHAVリスクがあることを警告している。 輸血によるHAV感染防止のためには、HAV感染リスクの高い地域に滞在直後の血液ドナーについてはHAV NATスクリーニング検査の実施又は一時的な供血禁止が必要である。A型肝炎リスクが認識されていない地域においても予防接種を受けていない旅行者には感染のリスクがあることを示唆する事例。感染源は特定されていないが宿泊したホテルの1つがヨーロッパ人旅行者のHAV感染300例以上の感染源であることが後に判明した。	1
2005/9/22	50106	A型肝炎	Transfusion 2005;45(7):1097-1105	ドイツにおいて、市販のRT-PCRの検査ではHAV陰性(2003年)であった血液ドナーからRT-PCRにより、HAVⅢA型が見つかった。HAVⅢA型を定量的かつ定性的に確認できるreal-time RT-PCRキットが開発された。	2
2005/9/22	50104	B型肝炎	第53回日本輸血学会総会	2004年に全国の医療機関から日本赤十字社に輸血後感染症(疑い含む)の現状とその傾向についての報告。2004年の輸血感染疑い例は総数293例。輸血との因果関係が高いと評価した症例はHBVが20(自発報告8、遡及調査6、全数調査1、追跡調査5)、HEVが2例であった。HBV症例には低濃度キャリアの複数回献血症例5例が含まれ、従来の遡及調査に加え、過去の感染疑い症例との照合、被疑製剤の献血者の追跡などの重要性が示唆。	
2005/9/22	50104	B型肝炎	J Med Virology 2005;77:39-46	日本の急性B型肝炎患者のHBV遺伝子型は、大都市の患者で遺伝子型A型が多くみられた。遺伝子型Cと比較して長期かつ軽度な臨床経過に関与するものである。	3
2005/9/22	50104	B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者(2002年10月)において、遺伝子型がHのHBV事例(外国滞在歴なし)が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。	
2005/11/28	50178	B型肝炎	第47回日本臨床血液学会総会 2005年9月17-19日	HBsAg陰性でHBsAb陽性患者が同種造血幹細胞移植後15ヶ月で劇症B型肝炎を発症した報告。化学療法及び造血細胞移植後に重篤なB型肝炎を生じた症例について、免疫状態の変動によってウイルスの再活化が考えられる。	4
2005/10/25	50136	B型肝炎	AABB Weekly Report 2005;11(26):4-5	米国のFDA血液製剤諮問委員会で、HBV DNA陽性、HBe抗体陰性、HBs抗原陰性又は中和試験で確認されないが繰り返し陽性であった輸血用の全血および血液成分のドナーが最低6ヶ月経過した後に個別NATによりHBVDNA陰性、HBe抗体陰性及びHBs抗原陰性であれば再登録できることをBPACが合意した。	
2005/9/22	50104	B型肝炎	J of Clinical Virology 2005;33(3):254-6	ヒトの咬傷によりHBV慢性キャリアの唾液からB型肝炎ウイルスが感染したことが、遺伝子解析により確認された中国の事例。	5